

2026年度 年間指導計画

鹿島朝日高等学校

教科	地理歴史	科目	世界史探究	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『世界史探究 (701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 東京書籍インターネット講座

学習の目標

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象の意味や意義、特色などを、時空や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、公共①～公共②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評定方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導		単位認定 試験	観点別評価		
		開講番号	開講期		知識・技能	評価規準	
p. 11～55 古代文明の出現 西アジアと地中海周辺	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 6, 11	P. 26～ P. 30 P. 36～ P. 39 P. 50～ P. 55	知識・技能	オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。
思考・判断・表現	文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 56～104 西アジアと地中海周辺 南アジア 東南アジア 東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、古アメリカ	2	②	Ⅰ・Ⅲ期	14, 15, 16, 19	P. 145～ P. 150 P. 187～ P. 191 P. 203～ 207	知識・技能	アジア・中央ユーラシア・アフリカ・オセアニア・古アメリカの古代文明について、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	古代文明の歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 106～144 イスラーム世界の拡大と繁栄 中世ヨーロッパ	3	③	Ⅰ・Ⅲ期	24, 25, 27, 29	P. 233～ P. 236 P. 244～ P. 249 P. 299～ P. 302	知識・技能	イスラーム世界の成立について、諸資料から読み取り、理解している。西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパが、それぞれどのような変容をとげたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について主題を設定して考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 145～166 中華世界の変容とモンゴル帝国 インド洋海域世界の発展と東南アジア	4	④	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解している。インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解している。
思考・判断・表現	諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東南アジアの発展、中国社会の特徴やモンゴル帝国などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 167～199 大交易時代と世界の一体化 ユーラシア諸帝国の繁栄	5	⑤	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特徴を構造的に理解している。
思考・判断・表現	アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 202～224 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	6	⑥	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。
思考・判断・表現	宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 225～258 国民国家と近代社会の形成	7	⑦	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。
思考・判断・表現	産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 259～297 世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	8	⑧	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。
思考・判断・表現	労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 298～317 第一次世界大戦の展開と諸地域の变容	9	⑨	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の变容を構造的に理解している。
思考・判断・表現	第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協賛主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 318～336 国際協賛体制の動揺と第二次世界大戦	10	⑩	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。
思考・判断・表現	世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 337～362 第二次世界大戦と戦後の東アジア 冷戦の世界化と国際制度	11	⑪	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の变容を構造的に理解している。紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。国際連盟と国際連合との共通点と相違点、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、第二次世界大戦後の科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
p. 363～385 冷戦の变容・終結と経済のグローバル化 21世紀の地政学的課題と人類社会	12	⑫	Ⅱ期	30, 31, 32, 35	P. 319～ P. 321 P. 332～ P. 336 P. 343～ P. 348	知識・技能	冷戦の变容・終結と地域紛争の顕発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南米問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性、科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。関連づけたりして読み解き、紛争と経済や社会の変化との関連性、経済格差と政治や社会の変化との関連性、現代の科学技術や文化の歴史的特色、第二次世界大戦後の科学技術の高制度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。						
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。						